

中期事業計画 2024-2026

社会福祉法人 恩賜財団愛知県同胞援護会

中期事業計画 2023 年度実績

【法人本部】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	2023	進捗状況
経営の安定	事業の拡充	障がい者サービス事業（グループホーム等）の拡充	障がい者グループホームの設置を検討	春日井地区、豊田地区におけるニーズ調査、収支シミュレーションを実施
		介護サービス事業（グループホーム等）の拡充	認知症高齢者グループホームの設置を検討	豊田市の公募エリアが石野・松平地区のため、当面見送ることにした
		在宅サービス充実強化による利用者の確保	デイサービスのサービス内容の充実	春緑苑デイサービスに送迎支援システム「ドライブボス」を導入
	情報発信力の強化	利用者・家族及び広く地域社会への情報発信	法人広報誌、HP、SNS、ブログ、動画サイトなどの様々な媒体を活用した法人施設の魅力発信の検討	法人公式 SNS（インスタグラム）を開設。HP、広報誌のリニューアルに向け、HP の構成案をまとめた
	地域との交流・地域貢献の促進	法人施設を活用した地域交流、地域連携事業の実施	地域交流・地域貢献事業について、地元自治会等との意見交換の実施	<春緑苑> 地域の老人クラブに場所を提供し、スマホ教室、認知症講座開催。<大府の郷> 各地区のふれあいサロン等において介護保険などの出前講座開催。<若草苑> 児童養護施設の児童や地元中学校の生徒、地域のボランティアを招き、施設入所者を交えたポッチャ大会を開催 など
利用者サービスの向上	職員の確保	外国人介護士の受入拡大	在留資格「特定技能」制度による外国人介護士の受入	<高齢者施設> 「特定技能」制度による外国人介護士 6 名の受入実施、<障がい者施設> 「春日苑」支援員 2 名（3 月）受入
		専門学校等との連携強化による学生（日本人・留学生）の安定確保	専門学校生との連携の可能性について協議	専門学校経由での「特定技能」の受入等について協議
		奨学金制度を活用した遠隔地高校生・専門学校生の採用増	他県の専門学校、高校への法人奨学金制度の情報提供や法人 PR の実施	情報提供を実施するも、採用には繋がらず。次年度以降も引き続き実施
		SNS やデジタルサイネージを活用した学生への法人の PR 強化	介護現場からの動画配信や大学でのデジタルサイネージを活用した法人 PR の手法・内容の検討	3 大学 10 箇所でデジタルサイネージを活用した採用広告の掲載を実施
		託児所の拡充	ニーズ調査の実施	新たに 2 箇所の企業主導型保育所との提携を実施（利用契約者 2 名）

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	2023	進捗状況
利用者サービスの向上	ICT・介護ロボットの活用	在宅サービスにおける ICT 活用による利便性の向上	訪問先でのケアプランの手続等に ICT の活用を検討	訪問先で必要な作業を行うための環境の検討。また「ケアプランデータ連携システム」を法人内事業所に導入
		実用的な介護ロボットの導入	入所者、介護士の負担軽減につながる実用的な介護ロボットの導入検討	ノーリフティングケアを法人全体として取り組む方向で検討実施。＜大府の郷＞移乗サポートロボット「Hug」を2台導入
	施設設備の計画的な改修・更新	感染症対策強化のための施設改修の実施	仕切りドアの設置など感染症防止のための改修工事の検討	春日苑、サンホーム豊田を対象に感染症防止策を検討。改修工事による対策は見通しが立たず、空気清浄機等などの設備面にて対応する方向で検討中
		老朽化した施設・設備の更新	各施設の改修、設備の更新について、優先度を考慮した改修・更新計画の策定	春日苑のエアコン更新、とよた苑のエレベーター更新、大府の郷のナースコール更新及び若草苑の災害用自家発電設備の設置（3/未予定）
職員の成長・業務の改善	職員の資質向上	役職者の研修プログラムの再構築によるリーダー職員の育成	将来管理職員として期待される役職者を対象に、外部研修を活用したリーダー人材の育成	管理職級研修、管理者スキルアップ研修、初任管理者基礎研修の実施
		ICT、ソフトウェアの活用技術の向上	導入した ICT、ソフトウェアの活用について課題の整理	事業所意見交換会にて課題検討
		外国人介護士に対する育成プログラムの作成	今後増加する外国人介護士の育成のための標準的な育成プログラムの作成	外国人の新規受け入れ施設向けの手引きを作成
		外国人指導担当者の育成	能力の高い外国人職員を新人外国人の指導担当に任命	引き続き指導担当に任命でき得る人材の育成を行う
		職種間、事業所間交流の促進	職種ごとに交流の場を設営し、意見交換や事例研究等を実施	事業所間意見交換会（特養、デイ、ヘルパー、居宅、障がい）を延べ14回実施。ICTの活用状況や勉強会・研修会の開催状況、業務分担、介護負担の軽減への取組みなど相互の施設見学も交えながら情報交換を行う
	職員のモチベーション向上	ソウェルクラブの活用促進	ソウェルクラブの具体的な活用例を紹介するなど活用を促進	採用時研修においてソウェルクラブの活用例や概略説明などを実施
		外国人・遠隔地採用者のための職員寮の拡充	地域ごとに外国人、遠隔地高卒採用者向けの職員寮の借上げ	外国人職員採用時に都度職員寮の借上げを実施
	業務の改善・効率化	間接業務の負担軽減	ペーパーレス化や効率化が可能な業務の洗い出し	各種申請業務の効率化、ペーパーレス化につながるデータ共有システムの検討
		高齢者、障がい者雇用の促進	シーツ交換、洗濯などの間接業務を担う高齢者、障がい者雇用の促進	清掃員として3名（高齢者2名、障がい者1名）雇用

【春緑苑】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
経営の安定	地域との交流・地域貢献の促進	認知症に関する取組み強化による地域住民等の理解向上	共通	認知症予防のための地域ニーズの把握	廻間町の老人会や地域包括のサロン・教室・会議等を通して、認知症の予防に対する関心が高いことを把握
				認知症に関する知識向上のためのVR体験会の実施	地域住民を対象に2回実施（特養主催1回、地域包括主催1回）
	介護者向けサロンの実施と評価	地域包括支援センターにて介護者向けサロン及び認知症のある当事者向けサロンを実施			
	若年性認知症に関する春日井市の実態把握、職員の知識向上	春日井市内の若年性認知症についての情報がほとんどなく進捗なし			
情報発信力の強化	予防フロアを活用した地域交流、地域連携事業の実施	デイ	地元自治会との意見交換、見学会の開催、事業実施へ	毎月第4日曜日に予防フロアにて地元高齢者が集まり、作品作り等を通じての交流が定着	
	行事・機関紙等の充実		他事業所からの利用者確保の検討 他事業所へ行事の参加依頼、機関紙の発送等を行い営業活動の強化	機関紙のQRコードから活動内容（写真、動画）を他事業所が閲覧できるよう改善	
利用者サービスの向上	施設設備の計画的な改修・更新	感染症対策のための施設改修の実施	特養	面会室等の改修検討	5類への移行に伴う面会方法変更を踏まえた面会室等の改修工事の検討実施
		重度化に対応するための寝浴導入		導入検討	導入検討完了。次年度以降に順次導入予定
		感染症対策のための空気清浄機の設置		ユニット内での換気と空気清浄機の設置を検討	導入検討完了。次年度以降に順次導入予定
	職員の確保	職員のストレス軽減		急な欠員へのフォロー体制の確保とOJTの充実	人員確保ができず未実施
	相談窓口の新設	担当地区（高森台・石尾台）内に相談窓口を新設		包括	地域住民のニーズ把握
職員の成長・業務の改善	職員のモチベーション向上	相談員と施設ケアマネの業務内容の見直し	特養	入居前後における業務内容の見直し	入居前後における業務内容の見直しは困難であり進捗せず。共通業務（行事等）の振分のみ実施
	職員の資質向上	介護支援専門員資格取得の推進 認知症実践者研修、認知症管理者研修等の参加	デイ	取得資格を有する職員への働きかけ 参加計画の作成、実施	介護支援専門員1名、認知症実践者研修1名、認知症管理者研修1名、介護福祉士3名が資格取得の研修に参加

【第2春緑苑】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
経営の安定化	防災対策の強化	BCP 見直し体制の整備	共通	防災委員会による継続的な見直し体制の整備	年間見直し計画及び担当部署策定周知。計画一部変更あったため本稼働は次年以降
		地域及び消防署との連携		合同訓練の実施を通じた意見交換の実施	炊き出し訓練・緊急時対応訓練・はしご車避難訓練等実施（参加者：職員 27 名、自治会 4 名、消防署員 12 名）
	地域との交流・地域貢献の促進	ボランティア受入の見直し		既存ボランティアの現況調査、ボランティアの在り方検討	既存ボランティアの現況調査、受入ニーズ調査実施。2023.11 から一部受入開始
	建物の効率的な活用	レイアウトを含めたスペースの活用方法見直し		現状把握、改善計画策定	進捗なし。次年度持越し
	稼働安定化のための組織体制整備	相談員を中心とした計画的な活動の実施と評価	特養・デイ	相談員会議の開催及び見直し営業目標の策定、進捗管理	会議内容を稼働管理・営業活動とし毎月 2 回、利用予定及び利用実績報告、営業計画及び実績報告実施
利用者サービスの向上	職員の確保	実習生受入の強化	共通	実習受入体制整備（担当者の育成、環境整備）	介護福祉士実習指導者講習 1 名、社会福祉士実習指導者講習 1 名受講 介護福祉士実習 7 名、社会福祉士実習 2 名、職場体験実習 2 名、看護教員実習 2 名、看護学実習 16 名受入
職員の成長・業務の改善	労働環境改善	年次有給休暇の計画的取得推進	共通	付与日数の 55%取得	付与日数の 69.4%取得
		配置に合わせたスペースの確保（感染等も配慮）	包括	分室活用方法の見直し含め、事務スペース確保のための計画の策定	勝川分室専用駐車場借入、分室用携帯電話整備、PC 事務環境整備実施
	職員の資質向上	資格取得支援/内外研修参加促進	共通	Web 研修の活用計画の策定	外部研修 57 名、内部研修 32 名、資格取得支援 8 名実施（うち Web 研修 30 名）
		実習生受入の強化		実習受入体制の整備（担当者の育成、環境整備）	介護福祉士実習指導者講習 1 名、社会福祉士実習指導者講習 1 名受講（介護福祉士実習 7 名、社会福祉士実習 2 名、職場体験実習 2 名、看護教員実習 2 名、看護学実習 16 名受入）
		専門性の向上と標準化	デイ	受講計画の策定 認知症介護実践者研修の計画的な受講（全員修了）	受講計画を策定。認知症対応型サービス事業管理者研修 1 名受講（2/9 名修了）、認知症介護実践者研修 2 名受講（5/9 名修了）

					上記以外の外部研修 12 名受講
--	--	--	--	--	------------------

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
職員の成長・業務の改善	職員育成とメンタルケア	計画的かつ効率的な面談の実施	共通	事業所毎の職員面談計画の策定	年 2 回（居宅 1 回）の面談実施による早期課題発見及び対策実施
	間接業務の負担軽減	ペーパーレス化の推進		現状把握、改善計画の策定	拠点内全ての会議においてプロジェクターの活用及び PC 持込によるペーパーレス化を推進
	業務の標準化	外国人介護職員の指導・教育体制整備	特養	外国人介護職員に対する育成プログラムの作成	課題について現況調査実施（問題が生じた際に遅滞なく記録出来るようノートを設置、各種マニュアルの理解度確認）

【とよた苑・東山デイ】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
経営の安定	感染症対応強化	感染症 BCP の実用性向上	共通	定期的検討会の設置、内容のブラッシュアップ	各事業所にて、これまでの経験を踏まえた感染症 BCP への見直し実施
	稼働率の維持	地域へ情報発信し利用者を確保		地域の他事業所やコミュニティなどへの営業実施	<ケアハウス> コロナ禍で疎遠になっていた市社協・民生委員との連携を再構築。<特養> 病院・老健との関係維持、福祉センターにサービス事業所のチラシを配布
	地域との交流・地域貢献の促進	ボランティアの受入再開と交流活動の実施		ボランティアの受入方法の検討、受入開始	<特養・ケアハウス> 大きな進展なし。<デイ（東山・とよた苑）> 市社協と連携し、ボランティア受け入れ 172 件（5 月～12 月末）
		施設との交流・連携 地域との災害時の協力体制構築	地域との窓口の再構築 連携項目の具体化及び調整	区長、民生委員に声かけをし、防災訓練を実施 <東山デイ> 同地区の中学生の体験学習受け入れ実施	
	施設の設備を活用した地域交流、地域連携事業の実施	包括	地域交流、地域貢献事業について 地元自治会等と意見交換の実施	認知症カフェのボランティアとして地域住民に協力を得られる。市内の福祉部会、民生委員の勉強会等にて施設の会議室を活用。消費者被害の増加に伴い、独り暮らしの方を対象に警察官を招いての勉強会を開催	

	事業の充実と稼働率向上	サービスの充実、特色作りによる利用者の獲得	とよた苑 デイ	選択制レクリエーションの導入 営業活動の標準化	選択制レクリエーションは進展なし ケアマネへ個別に機関紙等を手渡し情報を発信
利用者サービスの向上	施設設備の計画的な改修・更新	厨房の老朽化、衛生・構造的 問題解決に向けた改修の実施	特養・と よた苑デ イ	厨房の移設を含めた改修工事の検 討	本部主体にて検討中

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
利用者サービスの向上	施設設備の計画的な改修・更新	特養フロアの感染対策ための施設改修の実施	特養	換気システムの導入及びフロアの仕切りなど改修工事の検討	厨房移設に伴う改修工事と並行して検討中
		老朽化した設備（居室内トイレ、ミニキッチン温水器、室内照明）の更新	ケアハウス	設備更新の優先順位を決定し更新計画を策定、順次実施	居室温水器の更新については年式、状態を考慮し順次入れ替えを実施。その他設備については退去時に更新
		感染対策、業務効率を図るための改修計画及び実施	とよた苑 デイ	デイフロア内の洗面台設置及び温冷配膳車の導入検討	厨房移設に伴う改修工事と並行して検討中
		老朽化・感染予防のための改修	東山デイ	修繕・改修箇所の洗い出し及び豊田市との協議	自主点検を実施し不具合箇所は豊田市との協議により修理を実施（修理箇所：洗面台の排水管、浴槽内タイル目地、ろ過機ポンプ等）
	職員の確保	継続的な採用活動 登録ヘルパーの確保	ヘルパー ステーシ ョン	介護福祉士初任者研修等外部研修の誘致による人材勧誘・採用	初任者研修は最小催行人員に達していないため未開催。実践者研修の参加者に法人パンフレットを配布し、登録ヘルパー等の人材確保に努める
職員の成長・業務の改善	職員の資質向上	チームリーダーとしてメンバーをまとめ、部下の育成指導をする職員を養成し、組織を活性化	共通	個々のレベルに応じた OJT、OFF-JT、SDS を活用した人材育成	とよた苑独自の「人材育成計画」に基き、各職員の短所を補い長所を助長するようリーダーを通して実施
	業務の改善・効率化	音声入力による記録の効率化、職員間のスムーズな情報共有		インカム、ケアカルテ連動の音声入力アプリの導入の検討	ケアカルテ音声入力については、現場の反応が消極的かつ費用対効果は得られないと判断し中断。それに伴いインカム検討も中断
	職員の資質向上	外国人介護職員に対する育成プログラムの作成	特養	今後更に増加する外国人介護人材に向けた、標準的育成プログラムの作成	実務者研修受講や日本語支援学習など個人スキル向上の機会を提供しているが、施設としての標準育成プログラムについては進展なく次年度への課題とする。外国人職員の担当者(係長)の業務整理を行う必要あり

【第2とよた苑・保見の里】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
経営の安定	地域との交流・地域貢献の促進	自治会及び地域住民との関係づくり	共通	地域との協力体制構築のため、防災訓練などの協力を要請	<第2>浄水地区民生委員との交流会において災害時の避難協力を要請。<保見>運営推進会議で地域の訓練への参加を依頼
		交流スペース等を活用した地域交流、地域連携事業の実施	包括・デイ	地元自治会との意見交換、事業実施	<デイ>運営推進会議において自治区長等からのサービスに対する意見交換を実施。<包括>地区の福祉委員会等会議で意見交換、ニーズの把握
利用者サービスの向上	施設設備の計画的な改修・更新	浴室改修、空調設備・照明器具等の更新	特養・デイ	調査、検討及び段階的な更新	<第2特養、デイ>照明器具を順次更新中。<特養第2>各フロア脱衣場改修。<保見>故障箇所順次更新中。調査は概ね終了、次年度より更新計画実施。各見積済
		チェアインバスの導入	特養	機種を選定、順次導入	<第2>機種選定、年度内には設置予定。<保見>機種選定、見積済。設置に改修が必要なため検討中
	事業の充実と稼働率向上	需要に合った機器の選定、機能訓練の充実	デイ	機器の選定、導入	<デイ>機器選定、見積済、来年度予算にて導入予定
職員の成長・業務の改善	職員の資質向上	資格取得支援、内外研修の受講促進	共通	資格取得に向けた意向確認と、個々の能力に応じた研修の提案、受講を促進	<第2>資格取得に対する意向確認をし研修を案内。介福実務研修等参加を調整。<保見>意向確認済、順次研修先を提案中。
		ユニットリーダーの育成	特養	ユニットリーダー研修受講	<第2>実地研修3名、講義・演習研修1名受講。<保見>実地研修2名受講
	業務の改善・効率化	業務の効率化、業務負担の軽減	共通	ペーパーレス化、及び効率化可能業務の洗い出し、実施	<第2>特養介護士の変則勤務の開始時間について見直し検討中。<保見>訪問販売業者を増、買物にかかる相談員の時間短縮。物品在庫を減、介護の物品管理にかかる時間削減
				職員駐車場の照明確保	電気契約の検討、設置
	施設設備の計画的な改修・更新	大規模改修に向けた現況確認	第2とよた苑	現状調査と検討 順次着手	建物内外の改修箇所を確認し照明等、更新可能箇所から着手
			保見の里	施設周辺の借地調査	施設西側～北側にかけての土地調査実施。自治区管理者へ相談中

【大府の郷】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
経営の安定	地域との交流・地域貢献の促進	地域のコミュニティ向け介護教室の開催や講師の派遣	共通	介護教室の案内、要望調査、調整、開催 講師の派遣	3か所の地域サロンに出向き、介護予防体操や介護保険事業の説明などを実施。地域の民生委員を施設見学に招待
利用者サービスの向上	介護負担の軽減及び安心安全な入浴提供	入浴支援装置の導入	特養	機器の選定、設置	浴室のリフトの設置だけでは課題が残るため、浴室自体の見直し（特殊浴槽の購入）へシフトし、次年度から購入を進める
	利用者の確保	リハビリ機器の拡充	デイ	機器の選定、購入	リハビリ機器4台購入
職員の成長・業務の改善	職員の資質向上	資格取得支援、内外研修への参加推進	共通	推進	認知症介護実践者研修3名、認知症対応型サービス事業管理者研修1名、権利擁護推進員2名、介護福祉士見込1名
	労働環境の維持	年次有給休暇の計画的取得促進		付与日数の60%取得維持	職員の補充が追いつかず、付与日数の50%に下方修正
	業務の改善・効率化	ナースコール設備の更新	特養・短期	介護ソフト、見守り支援システムと連動するナースコールの導入	ナースコール設備の更新（2024年3月）

【若草苑】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
経営の安定	地域との交流・地域貢献の促進	集会室を活用した地域交流の実施	養護	ボッチャ競技を通じた地域交流の検討 地元の学校、団体、民生委員等への働きかけとイベントの実施	ボッチャ競技を入所者に知ってもらうことから開始し、10月に地元の小・中学生、児童養護施設、ボランティアとボッチャ大会を通じた交流会を実施。今後も継続予定
		地域における公益的な取組みの実現		地域貢献事業について、地元の民生委員や地域包括との意見交換の実施	11月に地域包括と意見交換を実施。地区の高齢者ニーズが把握でき、連携して実施方法の検討を進める
利用者サービスの向上	施設設備の新設	災害用自家発電設備の設置		災害用自家発電設備の設置	3月19日に発電機設置完了予定
職員の成長・業務の改善	職員の資質向上	導入したICT、ソフトウェアの活用技術の向上	ケアカルテ、眠りSCANの活用について課題整理	食事・水分摂取量、排泄や睡眠の状況把握を中心に活用できている。マニュアル作成を検討中	

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
職員の成長・業務の改善	業務の改善・効率化	間接業務の負担軽減	養護	ペーパーレス化や効率化が可能な業務の洗い出しと実施	データ入力業務の負担削減、簡略化可能な業務の見直しを実施

【春日苑・ワーカー鷹来】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
経営の安定	事業の拡充	障がい者グループホームの設置	支援施設・就労B	グループホーム設置に向けた具体的な形態、規模、立地等の検討 既存施設の視察	本部とともにグループホーム設置に向けて検討を重ねるも結果、現段階での設置は見送り。今後は、新たな設置方法（複合型等）を模索するために情報収集を行う
	情報発信力の強化	保護者及び地域に対する新たな情報発信ツールの確立		情報発信ツールの内容検討（本部と連携）、研修会等への参加	法人が開設した SNS（インスタグラム）の活用方法の検討実施。次年度から利用開始予定
	地域との交流・地域貢献の促進	地域との結びつきの強化	支援施設	町内会や自治会等の会合への参加 地域ニーズの把握	町内行事への参加（ワーカー鷹来のパン販売）を進行中。今後も会合等への参加を進めていく
		地域交流の場とする生活介護棟の活用方法を検討	支援施設・支援センター	地域ニーズの把握、活用方法に合わせた改修及び設備の検討	未実施
事業の見直し	生活介護との複合施設等の検討	就労 B	今後を見据えた利用者減少に対する複合施設化に向け、実施施設の調査、研究	今年度はグループホーム設置検討と拠点型送迎実施への取り組んできたため、検討は進まず。次年度へ持ち越し	
利用者サービスの向上	職員の確保	施設の認知度アップ	支援施設・支援センター	福祉体験等のコンテンツの企画制作	障害者支援施設としての特徴を活かした福祉体験企画について検討実施
	介護ロボットの活用	新たな介護ロボット等の導入		介護負担の軽減を目的とした機器の検討	腰痛予防としてノーリフティングケアの動画視聴、スライディングボードでの移乗方法に対する職員の意識改革を推進
	日中活動の充実	施設内外における活動への支援	支援施設	利用者ニーズの把握、新たな活動の企画、実施 外出時の感染対策等の基準の検討 利用者への講習会の実施	外出、外泊時の対応について基準を決定し、利用者・保護者も含めて伝達。クラブ活動の見直しを実施

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
利用者サービスの向上	施設設備の計画的な改修・更新	改修等による利用者の生活利便性向上	支援施設	居室や施設設備の見直し、改修や設置の検討	エアコンの更新完了。耐用年数を大幅に超えた設備について、予算ヒヤリング時に更新について提案
	利用者の確保	利用者送迎の実施による利便性の向上、安定的な利用者確保	就労 B	10月からの送迎実施に向け、運転手の確保、送迎ルートを選定、マニュアルの整備	10月中旬から拠点型送迎を実施。その後も利用者の利便性向上に向け、送迎ルートの見直しを実施
職員の成長・業務の改善	業務の改善・効率化	ICT活用・ペーパーレス化の促進	共通	ZOOMを活用した更なる会議方法の検討、設備・備品の検討、マニュアルの整備	多目的室内にWi-Fiスポットを1か所増設。コピー用紙の削減に向けて、委員会などの開催方法の見直しを検討
		ICT活用による情報管理の負担軽減	支援センター	訪問先での情報入力等の効率化方法の検討	情報収集と機器の検討を進めたが、大きな費用対効果を得るものが見つからず。引き続き検討を進める
	職員の資質向上	資格取得保有者の増強	共通	適任者の選定、研修等への参加支援	衛生管理者1名増員
		講師の育成	支援施設・支援センター	職員の選定、研修等への参加介護体験等のプログラムの立案	障害者支援施設としての特徴を活かした福祉体験企画について検討実施。今後、講師育成を進める
	他施設等との連携強化	障がい福祉団体に加入し、情報交換、将来展望の検討	就労 B	将来展望を協議できる職員の資質、技量の向上	知的障害者福祉協会へ新規加入。研修情報、研修動画を活用
	職員間交流の向上	休憩スペースの有効活用	支援施設・支援センター	職員ニーズの把握 休憩スペースの環境整備及び備品等の設置検討	休憩スペースの整理整頓を推進

【サンホーム豊田】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
経営の安定	事業の拡充	障がい者グループホームの設置	共通	グループホーム設置に向けた具体的な形態、規模、立地等の検討 既存の施設の視察	企画課とともに、グループホームの必要性や入所利用者の地域移行について検討
	地域との交流・地域貢献の促進	自治会及び地域住民との関係づくり	生活介護 (入所・通所)	クリーン活動の範囲の検討 自治会へのアプローチ、自治会行事への参加	五ヶ丘地区公園の2か所でクリーン活動を実施 自治会行事として、神社の行燈作成など交流。地元民生委員が利用者朝礼・散歩の付き添い、行事に参加。他施設や企業イベントとの交流実施
利用者サービスの向上	職員の確保	実習生の受入れ	生活介護 (入所)	体制の整備、見直し 学校との連携強化	学校（学生）の窓口を相談員に集約し、明確化 施設行事への参加促進、学校行事への参加
		新規・中途の雇用（職員配置2:1→1.7:1）		中高年のパート職員の雇用 実習生に対する雇用促進	パート雇用は、2名採用したが2名の退職で増減なし 施設行事にボランティアとして参加してもらい、学生に楽しさを感じてもらえるよう努めた
	ICT・介護ロボットの活用	見守り支援機器の導入 強度行動障害への支援	施設入所	見守り支援機器業者の選定、打ち合わせ	3社からの説明を受け、設置箇所、導入台数の明確化、見積り完了
	施設設備の計画的な改修・更新	感染症対策（ゾーニング）のための改修又は設備の購入		ゾーニングの見直し、検討 仕切りドア・パネルの検討、選定	パーティションの設置を業者と検討するが、施設側が求める形とかみ合わず難航
職員の成長・業務の改善	職員の資質向上	資格取得支援（介護福祉士、社会福祉士、サビ管、強度行動障害研修）	共通	資格取得の促進 研修の参加	介護福祉士3名、社会福祉士4名、精神保健福祉士1名 受験予定 強度行動障害研修（基礎、実践）各2名受講済み、（実践）2名3月に受講予定
		強度行動障害の理解・知識向上 強度行動障害支援の計画シート・手順書に基づく支援の実施	施設入所	研修動画「Lean on Me」の活用 計画・手順書の見直し、実施	研修動画は、昼礼時に短時間のものを勉強会の教材として活用 計画書は、加算部分の夜間部は実施
	業務の改善・効率化	障がい者雇用の促進	生活介護 (入所)	施設内外の環境整備・清掃等の間接業務を担う障害者雇用の促進	清掃員3名の障害特性を考慮し、業務内容を明確化。就労定着支援事業者と協力し、定期的な面談等を実施

【さくら保育園】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
経営の安定	情報発信力の強化	入園児の安定確保 一時保育利用者の新規利用拡大およびリピート率の向上	保育	園見学者の積極的な受け入れ パンフレット、ホームページの活用 一時保育利用の登録促進	月2回の見学会の実施 11月以降、一時保育利用者増加
	地域との交流・地域貢献の促進	地域における公益的な取組みの実施		学区の小中学校訪問と教員との意見交換 近隣の子育て家庭向けの園庭開放の実施	出川小学校への学校訪問を実施 見学会参加者に園庭を開放し子育て相談会を実施
利用者サービスの向上	職員の確保	保育士養成校との連携強化		保育実習生の積極的な受け入れ 就職フェアへの参加	実習生の受入れ実施 就職フェアに参加
	保護者の負担軽減	手ぶら登園導入の検討		手ぶら登園の内容の検討 保護者向けのアンケートの実施	複数の実施業者から資料の取り寄せ 保護者向けアンケート内容の検討中
職員の成長・業務の改善	ワークライフバランスの推進	業務の見直し、簡素化の検討		効率化が可能な業務の洗い出し 年次有給休暇の取得促進	ICT活用による業務の効率化推進 付与日数の50%取得維持
	職員の資質向上	経験年数に応じた研修参加の促進		キャリアアップ研修の受講	キャリアアップ研修未受講

【さくら第2保育園】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
経営の安定	事業（保育の量）の継続	恒常的な園児確保	保育	パンフレット・ホームページを活用した施設の特徴の発信 地域行事への参加・交流の検討	子育て支援施設での園紹介の掲示、ホームページ・広報を活用しての発信、地域の行事への参加実施
	地域との交流・地域貢献の促進	地域における公益的な取組みの実施		民生委員児童委員協議会及び自治会との意見交換、空き部屋の有効活用についての検討	定例会にて意見交換を実施
		地域行事への積極的参加		自治会、老人会、子供会との意見交換、行事参加計画の策定	地域主催の行事への参加実施
	防災対策の強化	非常災害時における体制整備の強化、徹底		防災マニュアル、BCPの見直しと備蓄の確保	防災、BCPについて園内研修の実施

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2023	進捗状況
利用者サービスの向上	職員の確保	養成校への就職促進	保育	ボランティア、実習生の積極的な受入 保育補助としての学生アルバイトの受入	実習生、学生ボランティアの受入れを実施
	配置基準の拡大	人員配置の上乗せ基準実施による安全保育の確保		私立園長会を通じた春日井市への要望提出	私立園長会内で構成されている分科会から保育課へ要望
職員の成長・業務の改善	職員の資質向上	キャリアアップ研修参加によるリーダー職員の育成		経験に応じた分野別研修への参加検討	未実施
		他園との交流促進		春日井市内の私立保育園との交流計画の立案	交流計画立案中
	業務の改善・効率化	間接業務の負担軽減		ペーパーレス化や効率化が可能な業務の洗い出し、本部との意見交換の実施	ペーパーレスへ移行中

中期事業計画 2024-2026

【法人本部】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	2024	2025	2026
経営の安定	事業の拡充	障がい者サービス事業（グループホーム等）の拡充	<豊田地区> グループホーム施設整備計画策定	施設整備、開設	
			<春日井地区> ワーカー鷹来の多機能化の検討	施設整備計画策定	施設整備、開設
		介護サービス事業（有料老人ホーム等）の拡充	有料老人ホーム等の事業検討	→	施設整備計画策定
		在宅サービス充実強化による利用者の確保	新たなサービス内容の充実及び提供	→	→
	情報発信力の強化	利用者・家族及び広く地域社会への情報発信	SNSによる発信の充実とホームページ、法人広報誌リニューアル	適宜改善	→
	地域との交流・地域貢献の促進	法人施設を活用した地域交流、地域連携事業の実施	地域交流・地域貢献事業の拡大支援	→	→
利用者サービスの向上	職員の確保	外国人介護士の受入拡大	在留資格「特定技能」制度による外国人介護士の受入	→	→
		専門学校等との連携強化による学生（日本人・留学生）の安定確保	専門学校等との連携強化について協議	→	→
		奨学金制度を活用した遠隔地高校生・専門学校生の採用増	他県の高校、専門学校への情報提供	→	→
		SNSやデジタルサイネージを活用した学生への法人のPR強化	効果を検証し、継続実施の判断	→	→
		インターンシップ、オープンカンパニーの受入実施《新規》	専用サイト等を活用した受け入れ実施	→	→
		提携保育所の拡充	提携保育所の新規開拓	→	→
	ICT・介護ロボットの活用	在宅サービスにおけるICT活用による利便性の向上	訪問先でのケアプラン手続き等へのICT導入を再検討、一部の事業所へ導入	→	→
		実用的な介護ロボットの導入	移乗サポートロボットの導入	→	→
		見守り支援機器の導入（サンホーム豊田）《新規》	カメラ型見守り機器の導入	運用	→

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	2024	2025	2026
利用者サービスの向上	施設設備の計画的な改修・更新	感染症対策強化のための設備の導入	従来型施設（とよた苑、春日苑、サンホーム豊田）における感染対策設備の検討	導入	→
		老朽化対策及びサービス向上のための施設・設備の更新	<とよた苑> 改修計画の策定、改修工事の実施		
			<保見の里> 改修計画の策定	土地確保、改修	
職員の成長・業務の改善	職員の資質向上	役職者の研修プログラムの再構築によるリーダー職員の育成	将来管理職員として期待される役職者を対象としたリーダー人材の育成	→	→
		ICT、ソフトウェアの活用技術の向上	マニュアルの作成及びカスタマイズの実施	→	→
		外国人指導担当者の育成	指導担当者の選定	→	→
		職種間、事業所間交流の促進	事業所間で課題検討、改善 デイサービス一日業務体験の実施	→	→
	職員のモチベーション向上	ソウェルクラブの活用促進	研修等を通じて具体的な活用例を紹介するなど活用を促進	→	→
		外国人・遠隔地採用者のための職員寮の拡充	随時実施	→	→
	業務の改善・効率化	間接業務の負担軽減	データ共有システム「Canbus.」の導入検討、運用	運用	→
		ノーリフティングケアの推進《新規》	法人全体でノーリフティングケアを推進 各施設に推進チームを発足、移乗支援のための機材の導入	実践	定着
		高齢者、障がい者雇用の促進	シーツ交換、洗濯、清掃などの間接業務を担う高齢者、障がい者雇用の促進	→	→
		顧問弁護士の配置《新規》	顧問契約、各施設へのサポート実施	各施設へのサポート実施	→

【春緑苑】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
経営の安定	地域との交流・地域貢献の促進	認知症に関する取組み強化による地域住民等の理解向上	共通	認知症カフェの試行、評価	認知症カフェの定期開催	→
				VR体験会の実施と学習会の実施	認知症に関する講演会と学習会の実施	→
	予防フロアを活用した地域交流、地域連携事業の実施	デイ	介護者向けサロンの定期開催	→	→	
	情報発信力の強化		行事・機関紙等の充実	交流地域の拡大	→	
利用者サービスの向上	施設設備の計画的な改修・更新	感染症対策のための施設改修の実施	特養	機関紙の内容の検討 発信方法の検討	→	
		重度化に対応するための寝浴導入		継続検討	→	
		感染症対策のための空気清浄機の設置		工事、導入、運用	導入検討（2台目）	
	職員の確保	職員のストレス軽減		実施、運用	特養導入検討	
	相談窓口の新設	担当地区（高森台・石尾台）内に相談窓口を新設	包括	継続人員確保	→	
職員の成長・業務の改善	職員のモチベーション向上	相談員と施設ケアマネの業務内容の見直し	特養	実施	→	
	職員の資質向上	介護支援専門員資格取得の推進 認知症実践者研修、認知症管理者研修等の参加	デイ	継続検討	→	
				実施	→	

【第2春緑苑】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
経営の安定	防災対策の強化	BCP 見直し体制の整備	共通	実施	→	→
		地域及び消防署との連携		実施	→	→
	地域との交流・地域貢献の促進	ボランティア受入の見直し		感染を考慮したボランティア受入マニュアルの改正（デイ）	感染を考慮したボランティア受入の検討及びマニュアルの改正（特養）	
	建物の効率的な活用	レイアウトを含めたスペースの活用方法見直し		実施	→	→
	稼働安定化のための組織体制整備	相談員を中心とした計画的な活動の実施と評価	特養・デイ	営業目標の策定・進捗管理	→	→
利用者サービスの向上	職員の確保	実習生受入の強化	共通	実習受入体制整備（担当者の育成、環境整備）	→	→
職員の成長・業務の改善	労働環境改善	年次有給休暇の計画的取得推進	共通	付与日数の55%取得	付与日数の60%取得	→
		配置に合わせたスペースの確保（感染等も配慮）	包括	実施	→	→
	職員の資質向上	資格取得支援/内外研修参加促進	共通	実施	→	→
		実習生受入の強化		実習受入体制の整備（担当者の育成、環境整備）	→	→
		専門性の向上と標準化	デイ	実施	→	→
	職員育成とメンタルケア	計画的かつ効率的な面談の実施	共通	2023年度実施内容評価と2024年度面談内容の整理	→	→
	間接業務の負担軽減	ペーパーレス化の推進		実施	→	→
業務の標準化	外国人介護職員の指導・教育体制整備	特養	実施	→	→	

【とよた苑・東山デイ】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
経営の安定	感染症対応強化	感染症 BCP の実用性向上	共通	事業所内で BCP 周知と教育実施 BCP 運用推進委員会（年 2 回）における見直しと定着	見直しと実用性向上	→
	稼働率の維持	地域へ情報発信し利用者を確保		地域の他事業所やコミュニティなどへの営業実施	→	→
	地域との交流・地域貢献の促進	ボランティアの受入再開と交流活動の実施		ボランティア団体を中心とした交流会の計画実施	→	→
		地域との交流・連携 地域との災害時の協力体制構築	実施	→	→	
	事業の充実と稼働率向上	施設の設備を活用した地域交流、地域連携事業の実施	包括	近隣の企業へ「介護離職の防止」をテーマとした介護保険の相談や勉強会の開催を市に企画提案	検討、実施	→
		LIFE 等のデータを活用した質の高い介護の推進《新規》	共通	検討、実施	実施	→
		医療機関との連携体制の構築《新規》	特養	検討	実施	→
利用者サービスの向上	施設設備の計画的な改修・更新	サービスの充実、特色作りによる利用者の獲得	とよた苑デイ	実施	→	→
		厨房の老朽化、衛生・構造的問題解決に向けた改修の実施	特養・とよた苑デイ	検討	実施	→
		特養フロアの感染対策ための施設改修の実施	特養	検討	実施	→
		3 階フロアへの寝浴導入《新規》	特養	検討	導入	→
		老朽化した設備（居室内トイレ、ミニキッチン温水器、室内照明）の更新	ケアハウス	設備更新の優先順位を決定し更新計画を策定、順次実施	→	→
		感染対策、業務効率を図るための改修計画及び実施	とよた苑デイ	検討、実施（温冷配膳車：厨房移設後）	→	→
		老朽化・感染予防のための改修	東山デイ	修繕・改修の実施	→	→

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
利用者サービスの向上	職員の確保	継続的な採用活動 登録ヘルパーの確保	ヘルパーステーション	介護福祉士実務者研修等による人材勧誘・採用	→	→
職員の成長・業務の改善	職員の資質向上	チームリーダーとしてメンバーをまとめ、部下の育成指導をする職員を養成し、組織を活性化	共通	個々のレベルに応じた OJT、OFF-JT、SDS を活用した人材育成	→	→
		外国人介護職員に対する育成プログラムの作成	特養	育成プログラムの検討	実施	→
	ショートステイ運用の見直し《新規》	20床1単位とし1フロアによるケア検討		実施		
	業務の改善・効率化	生産性向上に向けた業務改善の取組《新規》	共通	実行計画の策定	実施	→
		ノーリフティングケアによる身体的負担軽減《新規》	特養	ノーリフティングケアの教育と実践	ノーリフティングケアの定着	→

【第2とよた苑・保見の里】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
経営の安定	地域との交流・地域貢献の促進	自治会及び地域住民との関係づくり	共通	防災訓練の実施、地域活動への参加	→	→
		交流スペース等を活用した地域交流、地域連携事業の実施	包括・デイ	地元自治会との意見交換、事業実施	→	→
利用者サービスの向上	施設設備の計画的な改修・更新	浴室改修、空調設備・照明器具等の更新、チェアインバスの導入	特養・デイ	<第2> 特養共用部をガスヒーポンへ切替検討、居室空調15台入替 <デイ> 歩浴浴槽改修ならびにチェアインバス設置検討 <保見> 浴室改修の検討、機種を選定、居室空調15台入替、ナースコール入替	<第2> 居室空調15台入替 <保見> 居室空調14台入替	
	事業の充実と稼働率向上	需要に合った機器の選定、機能訓練の充実	デイ	機器の選定、導入	→	

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
職員の成長・業務の改善	職員の資質向上	資格取得支援、内外研修の受講促進	共通	資格取得に向けた意向確認と、個々の能力に応じた研修の提案、受講を促進	→	→
		ユニットリーダーの育成	特養	ユニットリーダー研修受講（実地・演習）	→	→
	業務の改善・効率化	業務の効率化、業務負担の軽減	共通	実施	→	→
				<第2>申請許可が下り次第設置		
	施設設備の計画的な改修・更新	職員駐車場の照明確保				
		大規模改修に向けた現況確認	第2とよた苑	現状調査と検討 順次着手	→	
	職員、来客駐車場の拡充	保見の里	<保見>自治区と協議	→		

【大府の郷】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
経営の安定	地域との交流・地域貢献の促進	地域のコミュニティ向け介護教室の開催や講師の派遣	共通	介護教室の案内、要望調査、調整、開催 講師の派遣	→	→
利用者サービスの向上	介護負担の軽減及び安心安全な入浴提供	入浴設備の見直し	特養	個別浴槽の入替、運用		寝台浴槽の導入、運用 →
	介護負担の軽減及び安心安全な移乗	通常の車いすでは対応できない入居者向けの車いすの整備 《新規》	特養・短期	フルリクライニング車いすの導入、運用	→	→
	利用者の安全確保	ベッドからの転落による骨折事故等のリスク軽減 《新規》	特養・短期	超低床ベッドの購入、運用	→	→
職員の成長・業務の改善	利用者の確保	リハビリ機器の拡充	デイ	専門職による運用	→	→
	職員の資質向上	資格取得支援、内外研修への参加推進	共通	推進	→	→

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
職員の成長・ 業務の改善	労働環境の維持	年次有給休暇の計画的取得促進	共通	付与日数の50%取得	→	→
	業務の改善・効率化	ナースコール設備の更新	特養・短期	運用	→	→

【若草苑】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
経営の安定	地域との交流・地域貢献の促進	集会室を活用した地域交流の実施	養護	地域交流としてボッチャ大会を開催 (地元の学校、ボランティア、児童養護施設等への参加依頼)	→	→
		地域における公益的な取組みの実現		事業実施	→	→
		地域との連携、地域との災害時の協力体制構築《新規》		地域活動への参加、防災訓練等の企画・実施	→	→
利用者サービスの向上	施設設備の新設	災害用自家発電設備の設置		運用		
職員の成長・ 業務の改善	職員の資質向上	導入したICT、ソフトウェアの活用技術の向上		施設に合ったマニュアルの作成	→	→
	業務の改善・効率化	間接業務の負担軽減		業務効率化が可能な間接業務の検討と実施	→	→

【春日苑・ワーカー鷹来】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
経営の安定	事業の拡充	障がい者グループホームの設置	支援施設・ 就労B	本部と共に多機能型検討(ワ-カ-鷹来)	本部と共に施設整備 計画策定	(施設整備) 利用者の確保、選定
	情報発信力の強化	保護者及び地域に対する新たな情報発信ツールの確立		実施、改善	→	→

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
経営の安定	地域との交流・地域貢献の促進	地域との結びつきの強化	支援施設	ニーズに合わせた事業の検討	検討、実施	→
		地域交流の場とする生活介護棟の活用方法を検討	支援施設・支援センター	地域ニーズの把握。ニーズに合わせた改修等の検討	地域への情報発信（必要に応じて改修等を実施）	運用
	事業の見直し	生活介護との複合施設等の検討	就労 B	実施施設の調査、情報収集、研究	事業の検討 設備改修（事業化の場合）	実施
利用者サービスの向上	職員の確保	施設の認知度アップ	支援施設・支援センター	福祉体験等の実施、改善	運用・改善	→
	介護ロボットの活用	新たな介護ロボット等の導入		導入、運用 （新たな機器の検討は継続）	→	→
	日中活動の充実	施設内外における活動への支援	支援施設	運用、実施、見直し	→	→
	施設設備の計画的な改修・更新	改修等による利用者の生活利便性向上		工事等の実施（必要に応じて）	→	→
	利用者の確保	利用者送迎の実施による利便性の向上、安定的な利用者確保	就労 B	運用、改善	→	→
職員の成長・業務の改善	業務の改善・効率化	ICT 活用・ペーパーレス化の促進	共通	実施、改善	→	→
		ICT 活用による情報管理の負担軽減	支援センター	情報収集、検討	→	→
	職員の資質向上	資格取得保有者の増強	共通	適任者の選定、研修等への参加支援	→	→
		講師の育成	支援施設・支援センター	講師の育成 地域や学校等への情報発信の実施	→	→
	他施設等との連携強化	障がい福祉団体に加入し、情報交換、将来展望の検討	就労 B	将来展望を協議できる職員の資質、技量の向上 研修への参加	→	→
	職員間交流の向上	休憩スペースの有効活用	支援施設・支援センター	職員ニーズの把握 休憩スペースの環境整備及び備品等の設置検討	→	→

【サンホーム豊田】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
経営の安定	事業の拡充	障がい者グループホームの設置	共通	本部と共に施設整備計画の策定 地域移行対象者の検討、準備	(施設整備) 地域移行	グループホームのバックアップ
	地域との交流・地域貢献の促進	自治会及び地域住民との関係づくり	生活介護 (入所・通所)	クリーン活動の範囲の検討 自治会へのアプローチ、自治会行事への参加	自治会へのアプローチ、自治会行事への参加	→
利用者サービスの向上	職員の確保	実習生の受入れ	生活介護 (入所)	体制の整備、見直し 学校との連携強化	学校との連携強化	→
		新規・中途の雇用（職員配置 2:1→1.7:1）		中高年のパート職員の雇用 実習生に対する雇用促進	→	→
	ICT・介護ロボットの活用	見守り支援機器の導入 強度行動障害への支援	施設入所	導入、運用	→	→
施設設備の計画的な改修・更新	感染症対策（ゾーニング）のための改修 又は設備の購入	設置、実施 感染症 BCP の見直し		→	→	
職員の成長・業務の改善	職員の資質向上	資格取得支援（介護福祉士、社会福祉士、サビ管、強度行動障害研修）	共通	資格取得の促進 研修の参加	→	→
		強度行動障害の理解・知識向上 強度行動障害支援の計画シート・手順書に基づく支援の実施	施設入所	研修動画「Lean on Me」の活用 計画・手順書の見直し、実施	→	→
	業務の改善・効率化	障がい者雇用の促進	生活介護 (入所)	施設内外の環境整備・清掃等の間接業務を担う障害者雇用の促進	→	→

【さくら保育園】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
経営の安定	情報発信力の強化	入園児の安定確保 一時保育利用者の新規利用拡大およびリピート率の向上	保育	園見学者の積極的な受け入れ パンフレット、ホームページの活用 一時保育利用の登録促進	→	→
	地域との交流・地域貢献の促進	地域における公益的な取組みの実施		実施	→	→

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
利用者サービスの向上	職員の確保	保育士養成校との連携強化	保育	保育実習生の積極的な受け入れ 就職フェアへの参加	→	→
	保護者の負担軽減	手ぶら登園導入の検討		手ぶら登園の内容の検討 保護者向けのアンケートの実施	→	→
職員の成長・業務の改善	ワークライフバランスの推進	業務の見直し、簡素化の検討		効率化が可能な業務の洗い出し 年次有給休暇の取得促進	→	→
	職員の資質向上	経験年数に応じた研修参加の促進		個別目標に向けた研修参加の促進	→	→

【さくら第2保育園】

運営目標	必要な取組み	アクションプラン	対象事業	2024	2025	2026
経営の安定	事業（保育の量）の継続	恒常的な園児確保	保育	実施	→	→
	地域との交流・地域貢献の促進	地域における公益的な取組みの実施		民生委員児童委員協議会及び自治会との意見交換、空き部屋の有効活用についての検討	実施	→
		地域行事への積極的参加		実施	→	→
	防災対策の強化	非常災害時における体制整備の強化、徹底		地域との合同訓練実施計画策定	訓練実施	→
利用者サービスの向上	職員の確保	養成校への就職促進		ボランティア、実習生の積極的な受入 保育補助としての学生アルバイトの受入	→	→
	配置基準の拡大	人員配置の上乗せ基準実施による安全保育の確保		私立園長会を通じた春日井市への要望提出	→	→
職員の成長・業務の改善	職員の資質向上	キャリアアップ研修参加によるリーダー職員の育成		研修参加	→	→
		他園との交流促進		実施	→	→
	業務の改善・効率化	間接業務の負担軽減	具体化、実施	実施	→	

